

「モリック先生の社会科」へようこそ

自己紹介 37年前 小学校の先生になる
30歳の時に「モリック」とよばれるようになる

- 好きな教科は「理科」と「社会科」
- 教えるのが苦手な教科は「国語科」と「社会科」でしたが、今では、・・・・・・・・・・・・・・・・！！
- 授業にもZOOMにもなれていません(失敗したらゴメン)

今日の学習の流れ

- ① 社会科用語の理解。社会科はどんな教科？なぜ学ぶの？なぜむずかしい？
- ② 板付遺跡の写真を見てわかることと考えられることを見つける。
- ③ グループワーク「弥生時代の暮らしについてのクイズの答えを考える」
- ④ ショートムービーを見ながら学習のまとめをする。

今日の学習でおさえてほしい言葉

やよい じだい
弥生時代

日本の時代区分のひとつ＝今から3000～1900年前ごろ
米作りのむらを中心に栄えた時代。

いせき
遺跡

昔の人の生活のあとがまとまって残っているところ。弥生時代の
ものでは吉野ヶ里遺跡が有名。

ほり
堀

敵や動物が入ってくるのを防ぐため、建物や町のまわりに掘られ
た溝。

ごうぞく
豪族

それぞれの地方で土地や金品、兵隊などをもち、人々を従え、強
い力をもつようになった人々。

しゅつどひん
出土品

遺跡から掘り出されたもの。衣服や食べ物など人々の生活を知
る上でとても参考になる。(食べ物？武器？食器？装飾品？)

したが
従える

連れていくこと、思い通りにすること。「社長は、社員を従えて出
張にでかけた」「戦争で敵を従えた」などと使う。

練習:「わかること」と「考えられること」の見つけ方



わかること

川? (「さく」がしかけられている)

人がいて何かしている

考えられること

「さく」は魚をとるためのしかけで、3人は漁師ではないか?

米づくりのむらから古墳のくにへ

めあて

板付遺跡の航空写真を見てみよう。そして、米づくりのむらのようすを想像してみよう。



遺跡からでてきた土器

写真からわかることや思ったことをワークシートに書き込みましょう。

むらの周りにほり

内側には建物が

遺跡から土器が

- 戦いや争いがあったにちがいない。
- 人々は助け合いながら協力してくらしていた？
- 人々はけっこう豊かな暮らしをしていた？

くわしく調べること

米づくりがはじまったころ、
人々はどのような暮らしをしていたのだろうか？
ワークシートを使って考えてみよう。